



「図書館で探すもの」

図書館長 坂倉守昭



生まれながらにしてデジタル機器に囲まれ、あふれんばかりの情報環境の中で育ってきた「デジタル・ネイティブ」の学生諸君は知らないかもしれませんが、インターネットが今のよう

に普及する以前、何か調べ物をしようとする時には、まず図書館に行って自分の求める情報が載っている本を探して調べるのが普通でした。しかし、近年、インターネットが急速に普及したおかげで、手元のスマートフォンを利用すれば、キーワードを入力するだけで、自分が必要とする情報あるいは興味のある情報を瞬時的確に入手することができます。インターネットによる検索ができなかったらどれほどの手間暇がかかったらと思うと、情報通信技術のありがたさに改めて感謝したくなります。

しかし、その弊害もあります。「エコーチャンバー効果」という言葉を知っていますか。エコーチャンバーとは音の反響（エコー）を調べるための特別な部屋（チャンバー）のことで、心地の良い音が発生されるとその音が増幅する一方、それ以外の音は耳に入らなくなる現象を表す言葉です。インターネットで検索することが普通になると、自分が欲しい情報だけを容易にしかも大量に入手するようになり、またSNSなどで自分と同じような考えをする人の意見ばかりに触れるようになります。そうすると、興味・関心の周辺あるいは外にある情報に接する機会を排除する状況になるという意味から「エコーチャンバー効果」と言われています。狭い視野で目の前しか見ていないと、有益な情報がすぐ横にあっても視界に入ってきません。ものごとをより深く理解するには、自分の考えを補強してくれるような情報ばかりでなく、新たな切り口や、自分の見立てに反する視点を与えてくれる情報源を探し出し、それに耳を傾ける必要があります。自分と違った立場、違っ

た視点の情報は、知識・教養の幅を広げることになり、情報アンテナの感度を高め、人生をより豊かにしてくれます。

食べ物や洋服など、自分が欲しいと思うものを買うつもりでお店に入っても、あれこれと物色したり、お店の人と話をしたりしているうちに、自分が思ってもみないものに出会って、思わずそれを購入したことはありませんか。ネットショッピングのサイトで「この商品を見た人は、他にこんな商品も見ています」と表示されていると、ついついそちらの方に興味移って予定外の物を買ってしまうことがありますか。情報検索でも、ときにはそのようなことが必要だと思います。

図書館でも図書の検索システムを使用すれば、本のタイトルや著者名あるいはキーワードをもとに目的の本をズバリ検索することはできます。パソコンはもちろんのことスマートフォンでも図書館のホームページを開いてもらえば、どこにいてもこの検索機能は利用できます。目的の本がはっきりしている場合にはぜひ活用してみてください。でも、特にこれといった目的の本がなくても、たまには図書館の中を探索してみませんか。興味のアナテナ感度を上げ、本のタイトルを眺めながら、気の向くままに書架を巡ってみませんか。そんな中で何か心に響くものがあつたら、手に取ってパラパラと中身を見てください。図書館には25万冊もの蔵書があります。仮に1日1冊読んだとしても大学生活4年間で読める本は僅か1,500冊程度で、とても全部読むことはできません。でも、これだけたくさん本があるわけですから、皆さんとの出会いを待っている本があると思います。時間のある時にぜひ図書館に来てください。そして当てもなく、しかし興味のアナテナ感度だけは高く上げて書架を巡ってみてください。きっと素敵な本との出会いがあることでしょう。

25万冊の蔵書は大学の財産ですが、その中の1冊の本との出会いは皆さんの人生の中でも重要な意味を持つ無形の財産になるかもしれません。

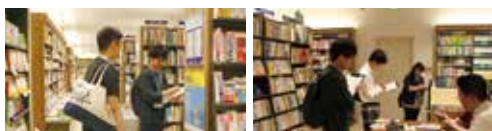
2018年度選書ツアー実施

毎回大好評の企画！選書ツアー（書店に行って図書館の蔵書となる本を選ぶ企画）を下記の通り6月、9月の2回実施しました。参加学生は丁寧に一冊一冊を選んでくれました。こうして選ばれ購入した図書は、参加学生手製の紹介カード（POP）を付けて図書館1階「選書ツアー図書コーナー」に配架されています。ぜひ手に取って見て下さい。

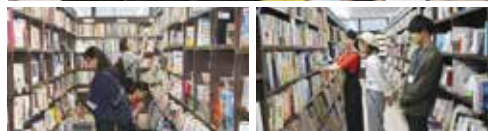
なお参加学生に開催日の希望曜日についてのアンケートをした結果、土曜日での希望が多数でしたので2019年度は土曜日の実施を検討中です。開催については決定次第図書館ホームページ等で案内予定です。興味のある方はぜひご参加下さい。

	第1回	第2回
日 時	2018年6月28日(木) 13:00-17:30	2018年9月21日(金) 13:00-17:30
場 所	三省堂書店名古屋本店	丸善名古屋本店
参 加 者	学生4名、引率者4名	学生14名、引率者5名
購入リスト (抜粋)	<ul style="list-style-type: none"> ・入社1年目女子仕事のルール ・世界の美しい野生ネコ ・数学検定準2級試験問題集 ・ハリリー・ポッターと魔法の歴史をめぐる旅 ・未来 ・ディズニー流感動を生む企画の秘密 ・ペンギン空を飛ぶ ・トランプ大統領はどんな人？ ・シス管系女子 ・孤独をたのしむ力 	<ul style="list-style-type: none"> ・ロスジェネの逆襲 ・クリエイターが暮らす家 ・マンガでわかる溶接作業 ・地図で楽しむ日本の鉄道 ・世界で一番美しいクラゲの図鑑 ・ゲゲゲの娘日記 ・概説近現代中国政治史 ・MINECRAFTはじまりの島 ・「進化する」日本のトイレ空間デザイン ・松本零士戦場漫画大全

第1回



第2回



学生と図書館長との懇親会開催

2018年12月10日(月)に「学生と図書館長との懇親会」を開催しました。(学生と図書館長が図書館について自由に語る会、年1回開催)

今回も学生の視点から図書館の改善について貴重なご意見を頂きました。ご意見の概要は次のとおりです。頂いたご意見は今後の改善に役立っています。

学生 「休憩や食事のときに食堂への移動が不便なので、館内に飲食できる場所が欲しいです。」

室長 「図書館資料を保護する意味から館内での飲食を禁止しています。場所に限りがあり、新たに休憩や食事の場所を増設することは難しいです。G棟2階には自動販売機が設置されており、飲食ができる場所となっています。そこが図書館に一番近い飲食ができる場所なのでそこへ行ってもらうとよいと思います。」

学生 「大学のパソコン利用について、サテライトパソコンの席はいつも満席で利用できないので台数を増やして欲しいです。」

館長 「サテライトパソコン増設の要望について理解しました。」

学生 「授業でも使うのでMacintoshが一台でも設置されると嬉しいです。」

館長 「Macintosh設置の要望について理解しました。」

学生 「図書館へパソコンを持って行っても、コンセントを使える席が他の利用者に使われていると不便なので、パソコン用コンセントを増設して欲しいです。」

室長 「今年度の予算でパソコン用コンセントを増やします。」
→要望に応じて1～3階の閲覧席へ合計10個のパソコン用コンセントを増設しました。

学生 「本を探するとき、本と本の間や、本の先頭に分野名の表示があると解かりやすいと思います。」

室長 「そのような図書館もありますが、スペースをとる為、本学では棚板の下部に分野の表示をしています。」

学生 「DVDのリクエストは、2020年の東京オリンピック関連でオリンピック映画や「映像の世紀デジタルリマスター版」を入れて欲しいです」

館長 「DVDのリクエストの要望について理解しました。」

〈参加者〉

〈学生〉

桑高千穂 (M16)、岩田敬睦 (D17)、大杉伊織 (D17)、林夕紀子 (A17)、

上谷遼 (T18)

〈館長、スタッフ〉

坂倉守昭図書館長、片岡智幸室長、井上章子主査、相原美輝主査、角田真衣室員、

飯田直美室員



第2回ビブリアバトル開催

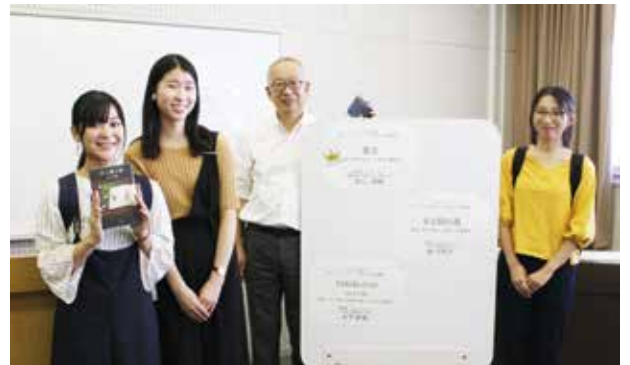
2017年に続いて第2回目となるビブリアバトルを下記の通り開催しました。3名の発表者それぞれが選んだ本を各自の言葉と表現力で紹介し、プレゼンテーション能力を存分に発揮した「知的書評合戦」となりました。発表の後、ディスカッションを行い参加者全員の挙手により「チャンプ本」を決定しました。

- (1)日 時 2018年10月9日(火) 12:20~12:50
- (2)場 所 グループAV室(図書館2階)
- (3)参加者 学生8名、職員6名
- (4)発表者及び紹介本

学籍番号	学年	氏名	チャンプ本	紹介本タイトル	著者
D15	4	内山瑞稀	★	魔王	伊坂幸太郎
A17	2	木下紗英		SAMBUICHI(JA81号)	三分一博志、新建築社(編)
A17	2	林夕紀子		羊と鋼の森	宮下奈都

今後も発表希望者が3名以上集まった時点で、随時開催する予定ですので、ぜひ好きな本を手にとり図書館までお越し下さい。発表者には図書館オリジナルグッズをプレゼントします!

〈ビブリアバトルとは? : お勧めの本を持ち寄り、順番に1人5分で本を紹介し、それを聞いた参加者全員の投票で「チャンプ本」を選ぶ書評ゲームのこと。2007年に京都大学の研究室で考案され、全国に広がりました。〉



企画展示コーナー紹介

図書館1階正面及び2階図書閲覧室前に「企画展示コーナー」があります。1階正面の展示は毎回時節や世情に合わせてテーマを設定し、テーマに沿った選りすぐりの本を展示しています。(展示している図書は貸出可能です) 2階図書閲覧室前の展示(番外編)は1階の展示テーマに沿った図書又はAV資料等を紹介しています。AV資料はAVラウンジで鑑賞できます。また、それぞれのリストをレターにして各場所に置いてありますので、自由にお取り下さい。

今年4-5月に予定しているテーマは右の表のとおりです。

テーマと内容	場所
〈テーマ〉初心者オススメ本 〈内容〉春は何かを始めるのに最適の季節です。新しいことを学ぶとき、わかりやすく書いてある本があればやる気が出ますよね。そこで、当館蔵書の中から、タイトルに「はじめての」や「入門」がつく本をご紹介します。チャレンジの幅を広げるきっかけにしてください。	1階正面
〈テーマ〉はじめての電子ブック(番外編) 〈内容〉最近スマホで漫画や書籍を読む人が多くなりましたが、図書館でも紙の本だけでなく、電子ブックも数多く所蔵しています。電子ブックは場所をとらず、簡単に検索ができるなどの利点があります。使い方を知っておくと便利です。	2階図書閲覧室前



(1階正面及び2階図書閲覧室前企画展示コーナー)

4月からOPACがリニューアル

4月からOPAC及びスマートフォン検索画面の下記項目が変更となり更に使いやすくなりました。(特にスマートフォンが大きく変更しました)

今回の変更による改善点は以下のとおりです。その他の利用方法については従来から変更ありません。

【主な変更点】

画面の種類	変更内容
詳細検索画面	従来の検索項目を整理し、画面全体がシンプルで見やすい表示になりました。
検索先データベースの切替え及び、横断検索画面	通常検索を行えば自動的に他大学所蔵、国内論文、国立国会図書館の横断検索が実行されるようになりました。

検索画面



詳細検索画面



1階 AV ラウンジの映像・音響機器リニューアル

AVラウンジのグループブース（定員5人迄）の大型液晶モニターを後援会の寄付によりリニューアルしました。これによりブルーレイの視聴も可能となりましたので、高画質の映像を視聴する学習にお役立て下さい。

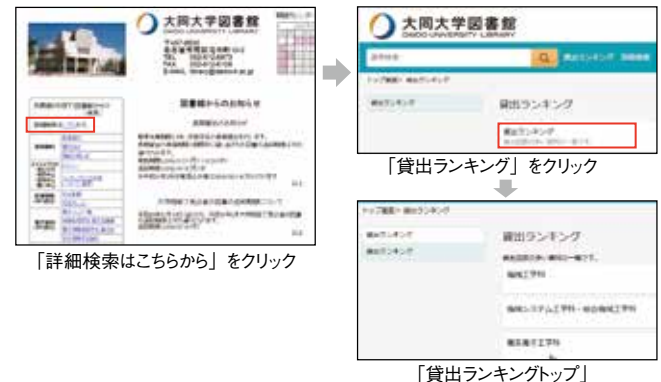
1～3階のパソコン用コンセント増設

2018年12月に行われた「学生と図書館長との懇親会」で、学生の皆さんより1～3階図書閲覧室に設置されているパソコン用コンセントを増設して欲しいとの要望がありました。その要望に応じて合計10個のパソコン用コンセントを増設しました。パソコンを使つての課題、レポート作成等にご利用下さい。

学科別貸出ランキング案内

図書館ホームページの「貸出ランキング」には、全学科（学科別）及びカレントブックスの「貸出ランキング」が掲載されています。最近どんな本がよく利用されているかを知り、その本を読むことは、自身の知見を広げる一助になると思います。詳しくは図書館サービスカウンターまでお尋ね下さい。「貸出ランキング」のホームページ掲載場所は以下のとおりです。

【図書館ホームページ】



図書館システムへのアクセス案内

図書館の所蔵資料の検索は、図書館ホームページにアクセスすることで、自宅のPCやスマートフォンからでも利用できます。

また、利用者IDとパスワードを入力して「マイライブラリ」にログインすると、更に便利な機能が利用できます。

- ・ 検索しても、図書館に必要な本が無い場合は、購入のリクエストができる。
- ・ 自分が今借りている本のリストや、過去に借りた本の履歴を見ることができる。
- ・ 今借りている本の返却期限日を延長することができる。(1回限り)
- ・ 貸出中圖書の予約ができる。

以上は来館しなくても使える機能です。使ってみて下さい。

PC・スマートフォン「大同大学図書館」で検索
<https://www.daido-it.ac.jp/~library/home/>

電子ブック利用案内

電子ブックについて、図書館のホームページから Maruzen eBook Library を通してオンライン利用が可能となっています。電子ブックでは各学科の学習に役立つ専門書や一般図書（「地球の歩き方」等）を数多く閲覧することができます。

なおアカウントを作成することで、学外からも利用が可能です。(アカウントの作成には大学発行のメールアドレスが必要です。)

- 電子ブック一覧：<https://elib.maruzen.co.jp/elib/html/BookList/>
また、所蔵していない電子ブックについては「リクエスト」もできます。方法は Maruzen eBook Library の検索画面へ書名又は著者名を入力し、該当がある場合には「リクエスト」画面の「リクエスト申込」へ必要事項を入力し、送信して下さい。後日図書館よりメールにて購入可否の連絡をします。
- Maruzen eBook Library：<https://elib.maruzen.co.jp/>